



図書館サービスの移り変わり

附属総合情報センター

主査（利用サービス） 池崎 康

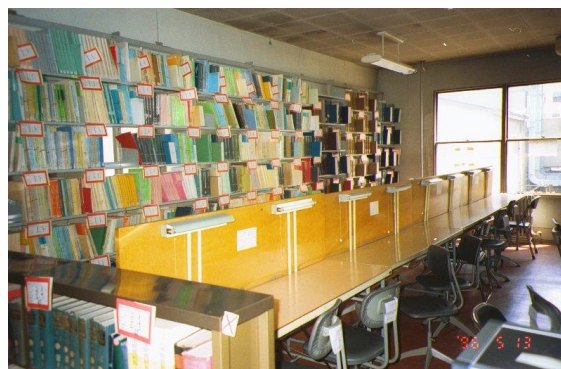
17年前の平成11年6月11日、図書館のリニューアルオープン記念式典が、学長、医学部長をはじめ、かつて図書館に携わった方々、学生代表が集まり、カウンター前のスペースで行われました。これを境に、業務の電算化が開始され、図書館の運営や利用者へのサービス提供方法が大きく変わり、現在の図書館へと継承されました。

職員、利用者双方が業務の電算化により様々な恩恵を受けることになりましたが、電算化以前との比較と将来に向けた展望について考えてみたいと思います。電算化によって様変わりした主なサービスは、次のとおりです。

1点目は、学内所蔵図書の検索ツールの変更です。学内所蔵図書の情報を著者、書名、件名別の3種類に分けて、厚紙のカードに記入し、それぞれのカードボックスに収納した「図書目録カード」で探す方法からパソコンを使ったOPAC検索へ移行しました。その後、図書や雑誌の電子化が進むと、研究室のパソコンから居ながらにして原本を入手できるようになり、図書館に来ることなく、瞬時に情報入手が可能となりました。

2点目は、開館日数と開館時間を拡大したことです。自動入退館システムを導入し、IDカード（又は学生証）による入退室を可能にすることにより、24時間開館を実現しました。サービス開始から17年経ちましたが、国内で土・日・祝日を含む24時間開館を実施している図書館は決して多くはありません。

3点目は、新しい図書館を作るにあたり、本学の理念である「医学医療の攻究と地域医療への貢献」に基づいた仕組み作りを目的とした新たな情報検索システムの提供です。現在、国内大学図書館システムでは当たり前となっている



旧図書館閲覧席（平成8年5月撮影）

PubMedや医中誌Web等の文献検索データベースの検索結果からの電子ジャーナルへの誘導や学外文献依頼までの一連のサービスを可能にしたシステムを国内で最初に開発しました。この成果に対して、日本医学図書館協会から10年ぶりとなる協会賞を受賞しています。また、平成22年度からは、これら一連のサービスを出張先や自宅等からリモートアクセスで利用できるサービスを開始しています。

このように当センターは、時代に相応しいサービスを提供してきましたが、現状の課題や利用者からの要望を踏まえた更なる図書館作りを進めていかなければと考えています。特に現在進められている新教育研究施設工事に合わせた図書館利用スペースの再配置は重要、かつ急がれるべき課題と考えています

今年1～2月にかけて、学生代表からはグループ学習スペースの充実についての要望があり、国家試験対策に向けたグループ学習のために、セミナー室の土、日曜日解放を実施しています。

今後とも、より良い図書館を皆さんと一緒に築いていければ、と考えていますので、ご意見、要望をお聞かせいただければ幸いです。これからも引き続き、よろしくお願いいたします。

電子メール経由のウイルス感染を未然防止するためのポイント

「43,943 件」... なんの数字かおわかりになりますか？実は、4月に本学に届いた(?) 電子メール・ウイルスの総数なのです。件数順に見ると、情報詐称ウイルス (29,407 件)、フィッシングサイト誘導ウイルス (13,456 件)、ファイル誘拐・脅迫ウイルス (ランサムウェア、1,076 件) に多く、この3つのウイルスで全体の99.99%を占めています。当センターでもスパムチェックサーバやウイルス対策サーバの設置し、外部からの攻撃を防御していますが、新種のウイルスに対策が追いつかないのが現状で、徹底して予防するのが一番の対策なのです。すでに学内メーリングリストなどでお伝えしている内容ではありますが、あらためて電子メール経由によるウイルス感染の予防対策を挙げますと次のとおりです。



予 防 対 策	重要度	内 容
ウイルス対策ソフトを必ずインストール	必須	基本中の基本ですが、使用するパソコンには必ずウイルス対策ソフトをインストールしてください。規則上、ウイルス対策ソフトをインストールしていないパソコンを学内LANに接続することは認められていません。
OS やソフトウェアのアップデートを必ず行う	必須	OS やソフトウェアのアップデートではセキュリティ上の盲点(セキュリティ・ホール)の修復も行われていますので、必ず行ってください。ちなみにマイクロソフト社のアップデートは毎週1回、水曜日に行われています。
添付ファイルの開封や本文リンクのクリックは慎重に!	必須	見知らぬ人からの電子メールは開かないようにしてください。特に添付ファイルや本文のリンクには触れないでください。電子メール・ウイルスに限っては、知人であっても、予告なく添付ファイルが送られてきた場合は、差出人本人に確認してから開くようにするなどの慎重さが必要です。インターネット犯罪者の世界では差出人詐称は常識なのです。
Web メールを使った事前チェック	推奨	ご使用のパソコンのメールソフトで電子メールを受信する前に Web メールを使い、不信なメールを削除するとパソコン側での危険性を激減させることができます。Webメールのアドレスは次のとおりです。また、ユーザーIDとパスワードはメール・カウントです(ユーザーIDは、メールアドレスの@マークの前のアカウント名)。 本学 Web メールシステム https://webmail.sapmed.ac.jp/

冒頭で本学に届いた電子メール・ウイルスの種類を記載させていただきましたが、これらのウイルスは国内でも大きな被害をもたらしています。昨年の日本年金機構の125万件に及ぶ情報流失は情報詐称ウイルスによる典型的な事例です。また、フィッシングサイトによる法人口座の被害額は14億6600万円に及んでいます(2015年度、警察庁調べ)。また、パソコンをロックし、解除のための身代金を要求するランサムウェアは病院なども標的にしつつ、世界中に広がりを見せ、新たな脅威となっています。教職員、学生のみならず皆さまにつきましても、個人情報扱う機会が多い本学の特徴を踏まえ、ここでご説明しました予防対策に積極的に取り組まれるようお願いいたします。

なお、ウイルス感染が疑われる場合は、速やかにネットワークから切断の上、当センター総務・システム係(内線2239、mailto:icccj@sapmed.ac.jp)までご連絡願います。

(総務・システム係)

国外学術雑誌購読希望誌優先順位調査結果について

本誌 10 号（2016 年 3 月発行）でお知らせしましたとおり、本年 1 月実施の国外学術雑誌購読希望調査では 3,858 誌を選定いただきましたが、次年度以降の整備検討をさらに進めるために、急きょ 3,858 誌に対する優先順位をお聞きする調査を本年 4 月に実施させていただきました。ここでは優先順位調査の結果の概要をご説明いたします。なお、調査結果の詳細は下記サイトで学内限定により公開していますのでご参照ください。また、本学教職員のみなさまにつきましては、短期間での 2 度の調査にご協力いただきありがとうございました。

◎「国外学術雑誌購読希望誌優先順位調査結果について（学内限定）」

url <http://infony.sapmed.ac.jp/jpn/news/2669/>

1 実施概要

今回調査の概要は表 1 のとおりです。調査は、本年 1 月実施の購読希望調査で選定された 3,858 誌から 50 誌を選択し、優先順位を付けていただきました。

表 1. 調査概要

項目	実施内容
調査期間	平成 28 年 4 月 19 日～5 月 18 日
調査対象	本学各講座・学科・中央部門等
調査方法	第 1 回選定誌 3,858 誌に 1 位から 50 位までの優先順位をつける

2 調査結果

(1) 集計結果

回答結果の概要は、表 2 のとおりです。68 講座より 1,111 誌が選定されました。選定誌に対する本年度提供誌数は 408 誌、充足率は 36.7%となっています。また、選定誌のうち、上位 5 誌は表 3 のとおりです。なお、全 1,111 誌のタイトル等の詳細は、前掲の学内限定公開サイトをご覧ください。

表 2. 集計結果

区分	回答数等
調査対象数 (①)	89
回答数 (②)	77
タイトル選定があった講座数 (③)	68
回収率 (②÷①)	86.5%
延べ選定誌数 (④)	2,220
重複を除く選定誌数 (⑤)	1,111
選定誌の H28 提供誌数 (⑥)	408
選定誌充足率 (⑥÷⑤)	36.7%

(2) 当センター既購読誌の選定状況

本年度の当センター既購読誌に対する選定状況は表 4 のとおりです。既購読誌のうち、84 誌が選定されませんでした。購読形態には大別して個別契約と包括契約の 2 つがありますが、個別購読は、包括契約とは異なり、タイトル毎の単体契約で、他誌購読への影響がありません。去る 6 月 28 日開催の当センター運営委員会では、選定から漏れた個別契約 49 誌に対する学内意見の聴取も含め、今回の調査結果をもとに次年度の国外学術雑誌整備について検討を進めることとなりました。

表 3. 選定誌（上位 5 誌）

順位	誌名	希望数	内1位の数
1	Nature	22	3
2	Cell	20	1
3	Science	19	
4	Nature Medicine	18	1
5	Lancet	18	
	New England Journal of Medicine	18	5

以上、優先順位調査結果について概説してきました。学術雑誌購読を取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、当センターでは利用者のみなさまがご満足いただけるよう検討を継続したいと考えます。学内所属員のみなさまにつきましては、引き続き、ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。（図書係 e-mail : serial@sapmed.ac.jp）

表 4. 当センター H28 年度既購読誌の選定状況

項目	契約誌数 (①)	選定誌数 (②)	差異 (①-②)
当センター購読誌	274	190	84
個別購読誌	178	129	49
包括契約誌	96	61	35

（註）包括契約は、一定の契約条件を満たすことにより、契約誌以外のタイトルも閲覧できる主題別パッケージ契約

****情報セキュリティ講習会に真剣なまなざし****

6月21日(火) 16:30より保健医療学部を対象に、情報セキュリティ講習会が行われました。日本電気株式会社より講師をお招きし、現代のネットワーク社会に潜む情報漏えいなどの脅威とその対策を実際の被害事例の紹介や動画で講演いただきました。



これからは自発的に脅威の手口を調査し、安易なパスワードの見直しやウィルス対策を行っていくことが重要です。

****文献検索セミナーはいかがですか？****

研究や論文執筆の際に、「もっと良い参考文献がないかな・・・」「でも探し方がわからない」という方、図書館では文献検索の方法を解説しています。所要時間は1時間程度です。どうぞお気軽にお問い合わせください。日程調整を行い、後日に開催させていただくこととなります。

(利用サービス 内線 2418)

図書館の利用で困ったときは

マニュアルをどうぞ!!

情報センターホームページに図書館利用マニュアルを掲載しました。音声付・音声無が選択できます。ぜひご活用ください。



夏季休業の長期貸出が始まります

7月4日(月)~9月20日(火)

5冊まで夏季休業の長期貸出が始まり

夏季休業中は開館時間変更します

7月19日(火)~9月2日(金)

9:00~17:00

学内者特別開館は 17:15~翌 9:00
土日は通常通りです。

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LANへの機器接続に関すること	2239	icccj@sapmed.ac.jp	総務・情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks (バークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

バークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp